

「備えて欲しい防災用品」緑ヶ丘地区の防災活動

緑ヶ丘地区の防災活動は郡山市内で比較的活発に活動していると評価されているがその活動は、市内全般に共通した活動を多く行ってきた。緑ヶ丘地域は大震災を含め被災程度が軽微だったので、防災の備えや防災意識の向上をさらに図りたい。

気候変動を主要因とした集中豪雨・豪雪・暴風などによる停電・断水、土砂崩れ等この地域でも起こりうる災害への備えと、火災予防に関心を寄せ財産と命を守る行動を地域を挙げて取り組まれるよう防災活動を進めてゆきましょう。

1. 経験に基づく災害対応優先項目

(1) 火災を起こさない備えと火の用心

- ①ストーブの近くで洗濯物を干さない
- ②コンロ周辺に燃えるものを置かない
- ③電気配線の定期点検、古くて硬くなった延長コードは交換する
- ④消毒用アルコールを火気のそばに置かない



(2) 初期消火法と備える備品

- ①住宅用火災警報器の設置
- ②消火器の設置推進
- ③風呂の残り湯による消火用バケツ、洗面器など容器設置



(3) 地震による転倒・落下防止の備え

- ①家具・冷蔵庫類の転倒予防・固定、
- ②落下物から身を守る習慣・訓練（テーブルの下へ・頭を守る）



(4) 停電・断水・ガス停止等

- ①照明：懐中電灯・ヘッドライトが便利
- ②照明：室内灯＝ランタン（ローソク？）
- ③食料（3食×3日×人数）パックご飯・切り餅・カップ麺・缶詰など

◇日常の食材を先入れ先出し賞味期限を管理して備蓄する

- ④飲料水、1人3㍑×3日×人数
- ⑤卓上コンロ・ポンベ・ヤカン
- ⑥簡易食器（使い捨て）
- ⑦スマホ・携帯充電器（停電時、車で充電）
- ⑧冬の暖房：電化製品が使用できない時、石油ストーブが有効
- ⑨トイレ⇒抗菌・（30~50個入りなど）



★風呂の残り湯で「停電・断水時にトイレを流す方法」参考

- ⑩携帯ラジオ
- ⑪乾電池類



(5) 洪水・風害・ミサイル攻撃対応等は省略

◆再生エネルギーの蓄電池や電気自動車、発電機の所有者は一部を除く